

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第七小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒206-0812
東京都稲城市矢野口1901-2

E-mail : inagi7e@educet.plala.or.jp

Website : http://academic1.plala.or.jp/ine7e/index.html

児童生徒数：男子 267名 女子 289名 合計 556名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本年度、重点的に取り組んだ単元を報告致します。

【1年生】冬とあそぼう～伝承遊びをしよう～

概要：冬の遊びとして、伝承遊びのあやとり、こま、けん玉、おはじき、だるまおとし、折り紙、たこあげなどの活動をした。活動の中で地域の人（ふれあいセンター）に伝承遊びを教えてもらい、楽しんだ。学校公開でも取り組み、保護者への啓発も行った。

成果：実践を通して、子供たちは伝承遊びを知り、我国に昔から伝わる遊びの楽しさを味わうとともに工夫することができた。また、これらの活動を通して、友達と関わって遊ぶ楽しさ、友達のよさや自分との違いに気付くことができた。さらに、地域の人との関わることの楽しさやよさを実感することができた。

【2年生】矢野口たんけん

概要：自分たちの住んでいる地域である矢野口をもっとよく知るために、地域の探検をしたり、弁天通り商店会の店の方にインタビューをしたりするなど、地域のよさを発見する活動を行った。

成果：地域の人たちとコミュニケーションをとることによって、自分たちは地域の人たちとつながっているということを実感することができた。また、すすんで活動に参加することで、受け身にならず、自分から関わろうとすることの大切さを知ることができた。地域に生きる一員として、共に生きているという意識が高まり、アンケート結果からも矢野口がさらに好きになったという児童が増えた。

【3年生】なしのことを知ろう

概要：地域の梨農家の方の協力を得て、梨の花粉付け、摘花、袋かけ、収穫の体験をさせていただいた。また、体験したことをもとに自分で課題をもち、梨について本で調べ、ポスターや新聞、手作りの本にまとめた。

成果：普段から、旬の時期には梨を食べることが多いという児童だが、体験をすることで、矢野口の梨は農家の方々が大切に育ててきたこと、安心・安全な梨作りのために農家の方々が思いを込めて様々な工夫していることを実感した。また、自ら課題意識をもって調べ、梨には歴史があること、梨にある栄養などを知った。これらの学習を通して、自分も地域の一員として、これからも梨作りが続いていくように梨作りに関わったり、地域外の人にも矢野口の梨を良さを広めたいという思いをもった。

【4年生】矢野口お宝探検隊

概要：地域の方々（乙奴連）や市役所の方々（夜見月連）に阿波踊りを教えてもらい、踊りの練習を重ね、矢野口で長年続いている「稲城阿波踊り大会」に出場した。

成果：実践を通して、子供たちは、今まで経験したことがなかった阿波踊りを心から楽しんだことはもちろん、阿波踊りについての知識や行事に関わる人の思いを知り、自分も地域の一員であることに気付いた。また、地域の方々に関わる心地よさを感じ、

これからも阿波踊り大会だけではなく、他の地域行事に積極的に参加していこうという意識を高めることができた。

【5年生】地域の情報を発信しよう

概要：北海道大空町の児童との交流を通して、矢野口や稲城市の良いところを再発見する。大空町児童に、自分たちが住む町の良さを伝えられるように調べ、発表に向けてわかりやすくまとめる活動を行う。

成果：今年度、天候の関係で大空町の児童は来ることができなかったが、5年児童はおもてなしができるように準備を行っていた。そのような活動を通して、自分たち自身が稲城や矢野口の良い所に気づくことができた。また、伝えたいことを精選してわかりやすく伝えようとする態度を身につけ、日々の授業の中に活かしていけるようになった。

【6年生】野沢温泉村宿泊体験学習

概要：野沢温泉村での宿泊体験学習では、児童それぞれが自ら課題を設定し、ブナ林の中でのキャンプ生活やまちでの生活を通して、野沢の自然の雄大さや野沢温泉村の方々の人と人とのつながりや温泉の管理における思いなどを実感し、また、4泊5日の共同生活を通して、友達のをさを改めて感じるとともに友情を深める。

成果：体験的な学習を通し、野沢の自然が東京の生活と関係があることや自分たちのまちである稲城との違いについて学び、自然を大切にしていこうとする心情を育てることができた。また、共同生活をするなかで、集団行動の規律の大切さや、仲間とともに助け合うことの素晴らしさを再認識し、自分の事は自分で責任をもって取り組む姿勢を身につけることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ _____ ）